

2021年3月25日

専門学校名古屋デンタル衛生士学院
校 長 飯 野 新太郎

学校関係者評価委員会

2020年度学校関係者評価委員会報告

自己評価報告書を基に実施しました学校評価を下記の通り報告します。

記

1、学校関係者評価委員

- ①長谷川 勲（評議員、元学校法人職員）
- ②飯野 弘和（非常勤講師、歯科医師）
- ③飯野新太郎（学校長）
- ④栗寄 政子（教務主任）
- ⑤澤崎 武士（事務局長）

2、学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以 上

2020年度学校関係委員会報告書

①教育理念

評価項目
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
学校における職業教育その他の教育指導の特色は何か
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
自己評価
【取組状況と成果】 教育方針に掲げる人間性豊かな学生を育成するために、芸術鑑賞や体験学習、フラワーアレンジメントなど教養講座として実施している。 学則変更に伴い本校の特色である「女性学」を2年生の単位としてより充実させ実施する予定となっている（2021年10月変更承認済み）（現在は教養講座として実施している） 入学時のオリエンテーションで教育方針、教育理念を説明している 【今後の課題と取組】 社会、歯科医療のニーズに対応できるよう講義、実習内容の充実さらに科目についても検討を重ねていく必要がある 今年度は2年時に卒業生を講師としてスケーリングの臨床的応用編として講義・実習を実施予定である。訪問歯科に関する講義も保健指導（3年）の中で実施予定である。
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である 現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

②学校運営

評価項目
目的等に沿った運営方針が策定されているか
運営方針に沿った事業計画が策定されているか
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
人事、給与に関する規程等は整備されているか
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

情報システム化等による業務の効率化が図られているか
自己評価
【取組状況と成果】 行事計画を作成し、例年実施しているが今年度に関しては新型コロナウイルスの影響で度重なる変更を余儀なくされている。また、中期展望は経営計画（5カ年計画）も現段階では作成の着手ができ兼ねている状況である 教育活動に対する情報は自校ホームページにて掲載している 情報システム化は既に、学校会計、学校給与、学生募集を実施している 【今後の課題と取組】 諸規定について、新型コロナウイルスの影響による就業を見直す際に給与規程に一部修正変更の必要性が生じたため、11月の定例役員会にて議事として審議承認されました。 また、併せて教職員の給与基準について見直しを行い役員会にて提案いたします 学生募集ソフトに付加されている教務関連機能ですが、現段階では有効に機能活用されていないため再度積極的な利用を意識します
学校評価委員の意見
評価：やや不適切である 今年度は、新型コロナウイルスの影響による学校運営の修正変更に変な状況であったが、今後も長期化を想定した取組を行っていく必要がある

③教育活動

評価項目
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
授業評価の実施・評価体制はあるか
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマ

ネジメントが行われているか
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
職員の能力開発のための研修等が行われているか
自己評価
【取組状況と成果】 今年度は新型コロナウイルスの影響で、年度始まりから緊急事態宣言発出に伴い長期休校となった。一年生は入学式を終えた直後の休校となったため、新しい環境下での修学・生活面とも不安要素があったと思われる 授業再開後も遅れを取り戻すための夏期休校期間中の振替授業や例年実施している交流会、研修旅行、修学旅行などの行事も全て中止となった また臨床実習に関しても急な施設受け入れ中止や変更があり、急きょ全衛協が手配したマナボット（人形型指導模型）を使用した実習も併用して行った。なお指導教員との意見交換の場である講師会も実施できず、情報共有も施設訪問を行うことで対応した 【今後の課題と取組】 新型コロナウイルスの影響は長期化することが見込まれるため、相互実習や臨床実習の中止に備えた代替教育の質を保ちながら行うことについて、教務内で協議することの重要性を再認識した。そのために、専任教員個々の能力を向上させる講習会への参加も積極的に参加して、この状況下での各養成所の取組について情報交換を行っていきます
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である 未曾有の事態発生に対応する困難や苦慮は長期化することが想定されるが、引き続き学生の状態に配慮した指導を行っていくこと。

④学修成果

評価項目
就職率の向上が図られているか
資格取得率の向上が図られているか
退学率の低減が図られているか
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
自己評価
【取組状況と成果】 新型コロナウイルスの影響によりリモート授業にて対応した講義は、本来実施する学内や臨床における実習に代えることが難しく学修成果を担保することは困難であった また国家試験対策の時間数を増やし、開始時期を12月からと早くから開始することとした しかし新型コロナウイルスの影響で、教務の国家試験対策の時間が少なくなったため科目の

絞り込みにより点数のとれる教科を中心に実施することとした

【今後の課題と取組】

今年度は想定外の事態が多いことから、国家試験対策も早期から開始したが感染防止に配慮した取組は指導時間にも影響され、対策の変更も強いられた。また実施された国家試験の出題傾向が近年に類を見ない特殊なものとなり、新たな国家試験対策の方向性を検討することが必要となった

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

資格試験の合格率の重要性はどの状況でも変えられないため、今後も新しいことを踏まえて更に鋭意努力を行っていくこと

⑤学生支援

評価項目

学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

学生の健康管理を担う組織体制はあるか

課外活動に対する支援体制は整備されているか

学生の生活環境への支援は行われているか

保護者と適切に連携しているか

卒業生への支援体制はあるか

関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

自己評価

【取組状況と成果】

新型コロナウイルスの影響で公的機関の緊急支援制度が創設され、家計急変者に対する告示等を行う際に、内容把握に行き届かなかった事がありました。混乱する日々の経過と共に情報も膨れ上がり、至らぬ点もあったと思われます

新型コロナウイルスに対する種々様々な緊急支援制度が公的機関を通じて実施された学校独自の歯科医院奨学金制度を実施している

学生の健康面については、年一回の健康診断もコロナ禍の中ですが全学年実施しました体調不良者で欠席が続いた学生には連絡を入れ、必要であれば保護者との連絡を取っている成績に関しても成績表の郵送、また不良者に対しては保護者に連絡をとるなど早めに対処するように努めている

校友会研修会が実施できていない

【今後の課題と取組】

実習補助教員は増員されたが、人員不足のため主体となる教務の負担が増えているため不測の事態の対応に不安がある

教務が日頃の授業、事務仕事に追われなかなか難しいのが現状であり改善が求められる
新型コロナウイルスの影響による家計急変の状況は今後も継続していくと考えられるため、
今後も支援に対する情報を正確に且つ迅速に情報処理を行うと共に、学校独自の緊急支援
制度の拡充についても様々な意見を拝聴しながら役員会にて協議して参ります

2019年度末をもって未承認となった専門教育訓練給付金の指定について、条件が再び整ったことで2020年10月に新規申請を行い2021年2月に指定講座として認可されました

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

人員が不足状況にあれば学生の声を聞くことができなくなるので、鋭意努力して人員を確保すること。またコロナ禍により家庭環境の変動はこれからも長期化すると考えられるため、定期的に家計状況の把握を行うこと

⑥教育環境

評価項目

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか

防災に対する体制は整備されているか

自己評価

【取組状況と成果】

養成所指定規則上の施設、専修学校設置基準上の施設についての法令遵守を行っている
新型コロナウイルスの予防対策としてリモート授業実施に対するソリューションの確定やそれに付随する消耗備品なども検証採用いたしました

【今後の課題と取組】

防災教育を含め学校全体としての備蓄品を検討し、所轄消防署との連携による避難訓練を検討する

リモート授業に対する講義の質を上げるため、PCの買い換えや通信環境の整備などを実施した。また、次年度もリモート授業の実施を想定した、学生の周辺環境も踏まえた対策強化を行って参ります

衛生消耗品の安定供給に問題があります（特にラテックス、ニトリルのグローブ供給不足が深刻化）

学校評価委員の意見

評価：ほぼ適切である

現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

⑦学生の募集と受入れ

評価項目
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか
学生募集活動は、適正に行われているか
学生募集活動において、資格取得・進学又は就職状況等の情報は正確に伝えられているか
自己評価
【取組状況と成果】 今年度は高校訪問繁忙期である春期（４月）から緊急事態宣言が発出された事もあり、ほぼ訪問が出来ない状況である 募集時期に関しては高等学校進路指導協議会との規定を遵守している 【今後の課題と取組】 早期化する募集活動に対して有効な手段であろう AO 入試について 2022 年度からの学生募集から実施するよう役員会にて議事諮問を行います SNS 告知の充実を図ったが、数値データ上ほど効果が感じられなかったため、更に業者とのヒアリングを重ね、効果の相乗を訴求します 今年度の体験入学については大幅に人数を制限し一部リモートで説明をする等、本来実施すべく十分な活動ができませんでした。また、対面での体験入学開催が今後とも制限されると考えられるため、リモートを活用した説明会を充実させる必要があります なお、リモート説明会は比較的参加者の時間に幅があるため、現在の人員では対応し兼ねる可能性もあるため、将来的なことも踏まえ人員の増員を検討します
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である AO 入試を実施するに当たっての、質の低下についてはアドミッションポリシーを明確にしレベルの均一化を図りながら情報発信を行っていく必要がある 社会人修学については 2021 年 2 月に専門教育訓練給付金の指定講座として認可された

⑧財務

評価項目
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
財務について会計監査が適正に行われているか
財務情報公開の体制整備はできているか
自己評価
【取組状況と成果】 昨年までの財務状況は安定していましたが、今年度は新型コロナウイルスに関する衛生消耗品の高騰や入手困難、リモート授業実施に対するソリューション構築費用や備品の購入感染予防に対する措置で例年になく支出費用の負担を強いられている また、継続して 5 年間の予算計画書類を作成し、財政基盤の強化に努めている

コンサル契約を締結している公認会計士より財務諸表の確認と指導をいただいている 【今後の課題と取組】 大規模修繕や大型設備の更新に備え、更なる収支計画の充実を図る 情報公開に関しては学内に閲覧書類を整備しているが、今年度よりホームページにも情報公開コンテンツを作成し公開を行っている
学校評価委員の意見
評価：ほぼ適切である 現在の取組と課題の項目を踏まえて引き続き鋭意努力を行っていくこと

⑨法令等の遵守

評価項目
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
自己評価結果を公開しているか
自己評価
【取組状況と成果】 年度当初から専任教員の募集を行っているが定数を満たしていません 個人情報に関しては取得に対する注意と漏洩に対する対策を実施、昨年からインターネット環境の接続強化を実施し万が一に備え財団の損害保険加入済み 自己評価報告書、学校関係者評価委員会報告書に関しては今年度当初から実施し情報公開を行っている 事務室内と多目的ホールに飛沫防止スクリーンを設置、実習室については教務の意見を聞き設置の検討を行う 【今後の課題と取組】 自己評価とそれに伴う学校関係者評価委員会を実施する中で、問題点の改善は基より実施の時期や構成員等も細かく検討し、より活性化させます
学校評価委員の意見
評価：やや不適切である 自己評価報告書と学校関係委員会報告書の情報公開については継続して実施すること 職業実践専門課程の申請を意識して外部評価の検討も行うこと 専任教員の補充に関しては教育の質に直結するため早々の増員に尽力すること

⑩社会貢献・地域貢献

評価項目
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
自己評価
【取組状況と成果】 資源や施設を活用した社会貢献は天白区歯科医師会の会合や研修会場として施設の提供を行っている 【今後の課題と取組】 域活動に関しては毎年様々な行事が行われているが、本年度は新型コロナウイルスの影響で全ての行事が中止となり参加も見合わせとなりました 生徒のボランティア活動に関しては、今年度の春学期（４月）に１ヶ月程の休校期間もありカリキュラムがひっ迫した状況にあるため実施は困難ですが、継続して啓発を試みます
学校評価委員の意見
評価：やや不適切である コロナ禍の中で感染予防対策を意識した社会貢献や地域貢献を考案していくことが必要と考える